



オーストラリアのアーティスト、バースさん(右)とダグウェルさんの歓迎会。住民は独特の作品を手にとった=1日、十日町市浦田

### 町 十日 作品制作へ滞在

豪の芸術家・バースさん

8月まで 小中学校で交流も

十日町市松之山地区のアーティスト、モード浦田に昨夏誕生した大地・バースさん(52)が1日の芸術祭関連施設「オー日、同市入りした。8月上旬まで約2カ月滞在し、ストリアハウス」で創作活動をするため、同国絹とフェルトを使った作

品を制作する。展覧会を開くほか、地元小中学校への出張ワークショップで児童らと交流する。

同国の公募で選ばれたバースさんは、同伴者の劇作家クリス・ダグウェルさん(59)とともに、同国の駐日大使館や日豪交流基金の援助で来日した。

作品は、絹にフェルトを合わせて刺しゅうし、透かし効果でトンボなどの柄を浮かび上がらせる。マフラーに似た細長い形で、障子紙のように建具に張るといふ。

フェルトは自国から持参したが、「絹は十日町で手に入れて、両国の素材を交ぜたものが作れたらいい。柄もこちらで考えたい」と語り、異国での創作活動に期待を寄せる。

1日は同市浦田の民宿

で歓迎会が開かれた。浦田地区協議会の丸山定一会長らが「浦田へようこそ」「仲良くやりましょう」などとあいさつした。

同伴のダグウェルさんは、ワークショップや展覧会、生活のサポートを担当する。「自分も脚本家なので、作品を書きたい」と意欲を示した。

バースさんを講師にフェルトに親しむワークショップは12日から、毎週土曜午後1時〜3時、同市浦田の克雪管理センターで開かれる。参加無料。問い合わせは大地の芸術祭の里総合案内所、025(595)6688。

8月には同センターでバースさんの作品を展示する。